

河津町

地形概況

相模灘に面し、段丘をともなう河津川谷底低地と河口には河津浜や今井浜がある。大鍋川や佐ガ野川谷底は溶岩や土石流堆積物が堆積する。北部は天城火山地で鉢の山は新しい火山である。見高入谷は断層が走り、1978年の地震で大崩壊を生じた。

地質概況

天城火山や登り尾の安山岩質溶岩、側火山の鉢の山はスコリア丘であり、玄武岩質溶岩を流出させて谷を埋めた稲取泥流層も河津川ぞいに堆積した。湯ヶ島層群・白浜層群も広く分布し、これらは凝灰角礫岩・凝灰質砂岩などからなる。

気象概況

年平均気温は推定 15.5℃、年平均降水量が推定 2,400mm で冬に温暖で夏に涼しく、平均気温の年較差が小さい特徴がある。気温・降水量とも県平均に近い値である。日照率は推定で 55%に達し、県下でも日の当たる日数が多い。

災害事例 地震

- 1978年1月14日（昭和53年）伊豆大島近海地震 M=7.0
被害は死者11人、負傷者28人。住家全壊16戸、半壊56戸、文教施設6箇所、病院14箇所、道路494箇所、橋梁2箇所、河川27箇所、港湾施設1箇所、水道85箇所、清掃施設2箇所、崖崩れ38箇所、鉄道12箇所、通信施設140箇所に及んだ。
また見高入谷で大規模な崩壊が発生、4戸埋没、死者7人を生じた。また梨本でも大規模な崩壊が発生した。
- 1976年8月18日（昭和51年）M=5.4
被害は河津町に限られ、家屋半壊3戸、一部破損61戸、道路損壊2箇所程度であった。
- 1974年5月9日（昭和49年）伊豆半島沖地震 M=6.9
一部破損55戸、山(崖)崩れ7箇所の被害が生じた。
- 1944年12月7日（昭和19年）東南海地震 M=7.9
上河津で震度3で被害もなかったが、県中・西部では大被害を生じた地震である。
- 1934年3月21日（昭和9年）M=5.5
上河津村で墓石が転倒した程度。天城山付近の局地地震。
- 1923年9月1日（大正12年）関東地震 M=7.9
東京・横浜を潰滅させた大地震であるが、当地では上河津村で家屋1戸(0.1%)が全壊した。また9月10日の余震でも道路破損などの小被害があった。
- 1891年10月28日（明治24年）濃尾地震 M=8.0
湯ヶ野の温泉は、地震後4~5℃温度を増した。付近の飲用に好適の井戸が、地震後2~3日して湧水量が5割増え、温度も上昇、飲用不適となった。

災害事例 津波

- 1960年5月24日（昭和35年）チリ地震津波
南米・チリで起こった地震による津波。津波の高さ0.8m、はじめ強く引いて、いつもはみえない海底までみえるようになった。
- 1923年9月1日（大正12年）関東地震津波
津波の高さは谷津で3～4.5m、見高浜で2.6～4.2mであった。

災害事例 台風

- 1914年8月12日（大正3年）
12～13日暴風雨。最大瞬間風速49.0m/s(石廊崎)。雨量は安倍川流域・東部・伊豆地方で多かった。上河津の日雨量は12日に322mmに達している。

災害事例 豪雨

- 1991年9月10日（平成3年）集中豪雨
低気圧による雨雲が発達、下田市街地では大した降雨はなかったが、数Km離れた山間部では数時間大雨が続くというきわめて局地的な豪雨となった。下田市落合地区で土砂崩れにより、家屋が崩壊するなどした。河津町では全壊9戸、半壊2戸、床上浸水101戸、床下浸水129戸の被害となり、災害救助法が適用された。